

# 家畜衛生だより

埼玉県中央家畜保健衛生所  
電話：048-663-3071  
緊急：090-2757-1650  
Fax：048-666-8731  
メール：m633071@pref.saitama.lg.jp

## 令和3年度から牛ウイルス性下痢（BVD）とブルセラ症・結核の検査体制が変更になります

### 牛ウイルス性下痢（BVD）

県内ではバルク乳や法定検査の余剰血清を用いたスクリーニング検査によって浸潤状況の把握を行ってきましたが、令和3年度からはヨーネ病と同様に4年に1度の定期検査と毎年の臨時検査を実施します。導入牛とその産子、販売用子牛についても積極的に検査を行い、健康牛確保・まん延防止に努めてください。なお、搾乳牛については年1回以上のバルク乳検査も引き続き実施します。

検査の種類	対象牛	手数料
定期検査 (4年に1度)	6か月齢以上の乳用牛及び 肉用繁殖雌牛全頭	有料 600円/頭
臨時検査 (毎年)	育成牛 導入牛（妊娠牛の場合はその産子も） 販売予定牛	
バルク乳検査	搾乳牛	無料

### 牛のブルセラ症、結核

過去3年間で全国的に実施した清浄性確認サーベイランスの結果から国内の清浄化が達成されたと考えられるため、令和3年度以降のサーベイランスは輸入牛（種付けの用又は搾乳の用に供するもの限る）及び種畜検査対象牛が検査対象となります。

※なお、中央家保管内には該当する牛がないため、検査実施予定はありません。

# 牛ウイルス性下痢（BVD）について

## ✓牛ウイルス性下痢（BVD）とは？

- BVD ウイルスの感染により繁殖障害や異常産、下痢などを起こす
- 白血球に感染するため免疫力が低下、他の感染症にかかりやすくなる

## ✓感染経路は？

- 唾液、鼻汁、糞便、乳汁、精液等

## ✓持続感染牛（PI牛）とは？

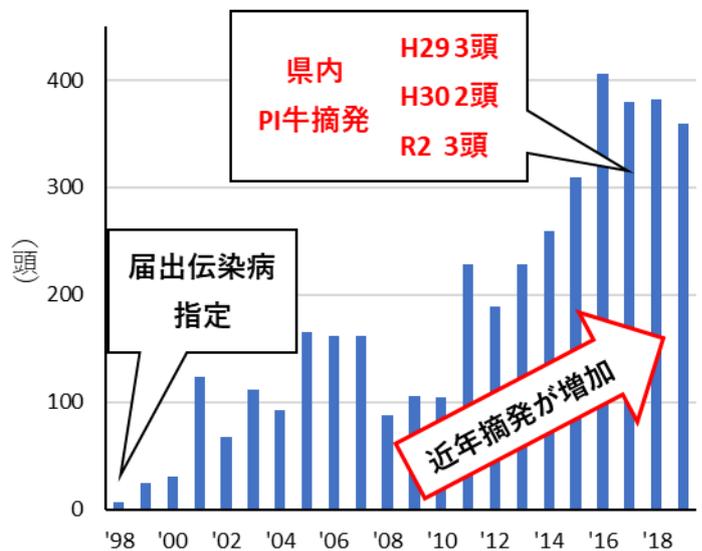
- 母牛（特に妊娠 100 日前後）に感染→産子が持続感染牛（PI 牛）に
- 見た目は健康、下痢・発育不良があることも
- PI 牛からは PI 牛しか生まれず、

### 生涯ウイルスを排出する

## ✓予防法は？

- 導入牛の検査で農場への侵入を防ぐ
- ワクチンを接種して感染を予防
- PI 牛と診断された場合は速やかに淘汰を実施

（評価額の 2/3 以内 補助あり）



中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

開所時間 平日 8:30~17:15

TEL : 048-663-3071 FAX : 048-666-8731

休日、夜間は緊急携帯電話に自動転送されます。（緊急携帯電話:090-2757-1650）